

「中国・アジア」ダイジェスト

2014.09.01-09.12

*記事は東京発行・最終版

DTSはベトナム現地法人から研修生を受け入れる。開発標準や日本の商習慣を学ぶ。帰国後に現地の従業員を教育する(4日付)

CHINA

9月1日(月)

NEC、プロジェクト内製化
深圳・EMS子会社タイ工場
NECは、中国深圳の電子機器製造受託サービス(EMS)業者に生産委託していたプロジェクトを内製化する。生産子会社のタイ工場に生産を移管。低価格機を手始めに順次。(12面)

日本の対中投資・減速

中国経済と日本企業2014年白書
2013年の日本の対中投資は、前半は増加を維持したものの、後半は減少に転じ、前年比4.3%減の71億ドルになった。中国日本商会が『中国経済と日本企業2014年白書』をまとめた。(26面)

9月2日(火)

加茂精工、新興国向け廉価仕様
ラック&ピニオン/中国など
加茂精工は、高精度に位置決めできるラック&ピニオンで価格を3割程度低減した新興国向けの廉価仕様を発売した。中国などの新興国で現地商社を通じて、廉価仕様で販売。(7面)中井工業、鉄物部品を仲介
日系車・農機・建築
中井工業は、中国で鉄物部品を調達し、現地の日系企業に供給する。設計から試作まで担当し、現地の協力会社に生産を委託。品質・納期を保証する。自動車や農業機械、建築向け。(7面)複合機、新興国攻略を加速
富士ゼロックス/中国を開拓
複合機各社が、新興国攻略を加速している。富士ゼロックスは中国でボリュームゾーンとなる中小規模の事業者の開拓を推進する。リコーは年度内に新興国に特化した製品を、数機種投入。(9面)

9月3日(水)

巨大化する中国スマホ
部品メーカーに変化
ファーウェイ、レノボ、シャオミ

中国地場メーカーのスマートフォンの世界シェア拡大が電子部品メーカーの事業が変化。アップル、サムスン電子に続く第3勢力から主役級に。(8面)

9月4日(木)

日米中、電子商取引拡大
2020年6兆7000億円

経済産業省は、日本、米国、中国3カ国間のB2Cの電子商取引が、2020年には最大で6兆7000億円に拡大との試算。2013年は約1兆7200億円と推計してあります。(2面)

G M、中国で最新鋭変速機
キャデラック搭載
GMは、中国で燃料効率の高い9速自動変速機を生産する計画。まずは、高級車ブランド・キャデラックのセダン

「ATS-L」など現地生産車種に搭載する。中国・搜狐網が伝えた。(5面)

9月5日(金)

漢方・生薬を国産化

生薬、中国から輸入8割

漢方の原料となる生薬の国産化に取り組む動きが活発化。生薬は8割が中国からの輸入。国産化で農地の有効活用や新産業創出につながり、地域活性化の妙薬になる可能性。(深層断面=26面)

9月6日(土)

クボタ、中国に小型ショベル
戦略モデル/現地生産

クボタは、中国の建設機械分野で攻勢をかける。戦略モデルとして、部品の現地調達拡充と完成品の現地生産によりコストを抑えた5種類の小型ショベルをこのほど投入した。(9面)

大阪・上海・インドに拠点
米ニンブルストレージ
米ニンブルストレージは、アジア・太

9月7日(日)

9月8日(月)

9月9日(火)

9月10日(水)

9月11日(木)

9月12日(金)



iPhone 6とPlus

iPhone 6

iPhone 6